

令和2年度 放流量量・水質分析表

(相楽郡広域事務組合 大谷処理場)

年/月 項目		単位	令和2年												大谷処理場 自主基準値		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和3年					
			1月	2月	3月												
水量	放流量 月平均値	m ³ /日	66.9	32.9	54.1	55.2	36.2	40.4	42.1	41.7	41.3	49.7	42.3		130.5		
水 質	水素イオン 濃度 (pH)		8.1	6.9	7.8	7.6	7.4	7.3	7.7	7.8	7.6	7.5	7.0		5.8~8.6		
	生物化学的酸素 要求量(BOD)	mg/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5		10		
	化学的酸素 要求量(COD)	mg/ℓ	1.3	1.1	1.4	1.2	0.7	1.4	0.8	1.0	1.8	0.5	<0.5		20		
	浮遊物質 量(SS)	mg/ℓ	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1		10		
	全窒素	mg/ℓ	0.82	0.98	1.6	0.78	1.1	2.7	0.68	0.88	1.2	0.36	0.43		10		
	全りん	mg/ℓ	0.084	0.026	0.030	0.038	0.034	0.025	0.11	0.049	0.05	0.091	0.027		1		
	大腸菌群数	個/cm ³	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		3,000		
	色度	度	<1	1	1	1	<1	<1	1	1	1	<1	<1		30		

※水量: 運転管理月報(1)による

※水質分析機関: 舞鶴厚生株式会社

令和2年度 ダイオキシン類測定結果

年月日 項目	単位	令和2年 7月10日	採取場所	国の基準値
排ガス	ng-TEQ/m ³ N	0.011	汚泥乾燥焼却炉	10ng-TEQ/m ³ N

※大気分析機関: 日吉

【単位・用語の解説】

ng(ナノグラム): 10億分の1グラム

TEQ: 最も毒性の強いダイオキシンの毒性係数を1.0として算出される毒性等量

m³N: 0°C、1気圧の条件での気体の体積

【法令根拠等】

・排ガス…ダイオキシン類対策特別措置法第28条第1項の規定により毎年1回以上、ダイオキシン類の測定を行わなければならない。